

2011年度オーディオペンション「シャモニール白馬」訪問

日時：2011年10月29～30日

参加者：今田、小川、島、霜鳥、高橋、林、福林、堀端（敬称略、アウエィ順）、山本(記)

クラブとして「シャモニール白馬」への訪問は今回で何回目だろうか。

しっかりと記録に残していなかった事は残念だが10回は超えていると思われる。毎年ではないのでかれこれ10年以上前から続いていることになる。過去のクラブの訪問者は延べ80名は超え、会の半分近くが一度は訪問しているはずである。

何故、長年継続して来られたのか。勿論往年の名機ウエスタンの心地よい音に誘われる事もあるが、何と言っても新田オーナーの人柄、生き方が魅力あるからであろう。毎回チョッとづつだがその凝りに凝った趣味の持ち物に変化している。今回はどんな変化が観られるのだろうか、その期待がもう一つの訪問する楽しみになっている事も確かである。

さて今回の訪問であるが、新しい会員が多く、当然このペンション訪問は初めてで、大分興味をそそった様である。肝心のウエスタンは最初、低音部の電源用真空管が壊れていて貧弱な音に一同不満続出。その後予備の真空管が見つかり事なきを得てオーナーはじめ一同ほっと溜息をつく。その後夜遅く迄、持参のCD、DVDでウエスタンの音を堪能。

良く食べ、良く喋り、良く笑い、持ち込んだアルコール類も全部飲み干し、二日酔いなどは吹き飛ばしてしまった。

他に洒落たホテルの野天風呂、美味しい信州蕎麦を経験、新しい会員とも一気に距離が近くなった旅行であった。

